

開講科目名 / Course	哲学入門	
ターム・学期 / Term・Semester	2025年度 / Academic Year 3 学期 / Third	
開講区分 / semester offered	3 学期 / Third	
単位数 / Credits	1.0	
学年 / Year	1	
主担当教員 / Main Instructor	平野 互	
担当教員名 / Instructor	平野 互	
必修・選択 / compulsory subject	選択	
講義形態 / Class Type	講義	
授業回数	8	
科目の目的と概要	<p>自己の内面を含む世の中の様々な事象を対象として概念化し考察する過程を哲学という。本科目では、考察のテーマとして、保健・医療・福祉の領域のみならず一般社会で重要と考えられている概念をいくつか紹介し、その意義を考える。</p> <p>哲学の一分野に倫理学があるが、看護職者として自らを律し、行動の拠り所とすべき実践の哲学である生命倫理、看護倫理について、その基本的な考え方、原則を手掛かりとして、倫理的にもの考えることを学ぶ。</p>	
到達目標	<p>1. 人権、自立、尊厳など、社会および医療・看護の世界で重要とされる概念について、自分の言葉で意義を述べることができる。</p> <p>2. 生命倫理、看護倫理の基本的な原則を説明することができる。</p>	
DPとの対応	1. 心豊かな人間性・倫理観	
授業計画	<p>01. 「哲学」事始め 哲学で何を学ぶか</p> <p>02. 言葉の意味を考える（1）権利、人権</p> <p>03. 言葉の意味を考える（2）自由、自己決定、自立</p> <p>04. 言葉の意味を考える（3）障がい</p> <p>05. 言葉の意味を考える（4）尊厳</p> <p>06. 優生思想と生命の選別</p> <p>07. 保健・医療・福祉の倫理学：生命倫理</p> <p>08. 看護の倫理</p>	
その他の授業の工夫	講義では双方向コミュニケーションに配慮するが、大人数の受講が予想されるため、ミニレポート等を通じて質問や意見を表明する機会を確保する。	
時間外学修	<p>事前学修：人間という存在や社会のあり方等で疑問に思ったこと、関心を抱いたことについて書籍を読む（4h）。</p> <p>事後学修：小レポートでのポイント整理と配布資料等による復習（4h）。</p>	
評価方法と評価割合	<p>平常点（授業への参加度）：20%</p> <p>授業ごとに提出するレポート：80%</p>	
テキスト	とくに指定しない。講義ごとにハンドアウトを配布する。	
参考書	講義中に適宜紹介する。	
履修する上で必要な要件		
その他		
教員の実務経験	有・無	無
	内容	
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	無
	内容	
実務経験をいかした教育内容		